

岐阜高専産官学交流懇談会テクノシンポジウム 2010 を開催

岐阜高専は、12月3日（金）に同校多目的ホールにおいて、第19回岐阜工業高等専門学校産官学交流懇談会テクノシンポジウム 2010 を開催した。

今回のシンポジウムは、第1部「人材育成関連」、第2部「知的財産権等を活用した地域連携」の2部構成のプログラムとし、第1部では、同校地域連携協力会会員企業で海外に複数の系列会社を有するレシップホールディングス株式会社管理本部人事総務部人事課長近藤和広氏による「企業における新入社員教育と女性活用」、同校OBで岐阜高専産官連携アドバイザー大野幸一氏による「人材育成塾の紹介と今後の展望」と題した講演が行われた。

続く第2部では、同校地域連携協力会会員企業で同校と共同研究により商品開発を行った、株式会社佐合木材環境事業部野村丈靖氏による「段ボール製避難用仮設住宅『オクタゴン』の開発」、同校電子制御工学科小林義光講師による「ツアーガイドロボット開発プロジェクトの現状」と題した講演が行われた。

このシンポジウムは「岐阜高専地域連携協力会総会」に併せて開催され、会員及び教職員約100名が参加し、参加者からは「中身が充実したシンポジウムでとても良かった。」「今回の講演は実際に地域連携による製品開発が行われており、企業側にも活力が得られる内容だった。」等の意見があった。



段ボール製避難用仮設住宅「オクタゴン」の講演をする野村丈靖氏